

ひとり親家庭を応援します！

15歳からの教育費 考えてみませんか？



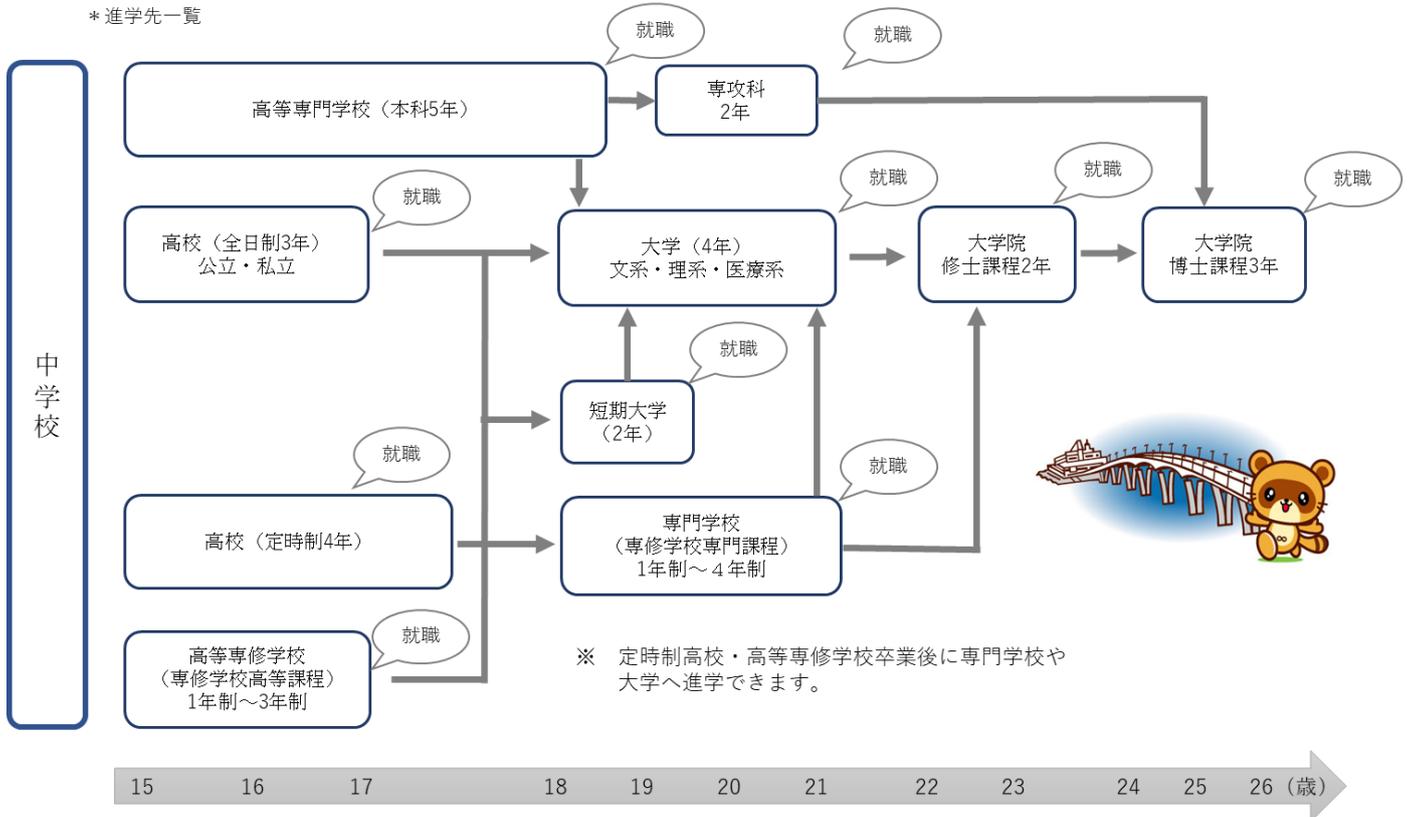
- * 教育費ってどのくらいかかるの
- * 教育費を準備するには
- * どんな支援制度があるの



15歳からの進路選び (将来の仕事を考えながら進路を決めよう)

義務教育の中学校卒業後は、いろいろな進路があります。お子様の進路によりかかる費用も変わります。どんな進学先があるか、何を勉強しどのような職業に就きたいか親子で考えましょう。

* 進学先一覧



高校進学のための費用 *高校になると中学の頃より費用がかかります！

千葉県の公立・私立高校費用

(千葉県、県内の私立高校 HP 等)

		入学検査料	入学科 (入学一時金)	授業料 (月額)
公立高校	全日制課程	2,200 円	5,650 円	9,900 円
	定時制課程	950 円	2,100 円	1,740 円(1 単位)
	通信制課程	950 円	500 円	330 円 (1 単位)
私立高校 (一例)		18,000 円 15,000 円	280,600 円 260,000 円	27,000 円 26,000 円

・公立高校・私立高校共に、上記以外に制服、指定の学用品・修学旅行費・教材費・学校納付金・部活動費・通学費などが必要になります。

・高校への進学の際は、家計の状況により利用できる制度があります。

① 高等学校等就学支援金制度 (国) は公立高校、私立高校共に利用可能

② 授業料減免制度 (千葉県) 私立高校が対象

・助成を受けるには申請が必要となり、高校入学後の早い時期に学校へ相談してください。

他に奨学金貸与制度、奨学のための給付金制度もあります。進学した高校にご相談ください。



◆大学進学のための費用

*大学進学には、まとまったお金が必要になります。

大学の初年度納付金

(独立行政法人大学入試センター、国立大学協会、私立大学 HP 等)

	区分	授業料	入学料	その他	合計	受験・検定料
国立	昼間部	535,800	282,000		817,800	大学入学共通テスト(12,000~)
	夜間コース	267,900	141,000		408,900	国立2次 (17,000円等)
私立 (一例)	文学部・経済学部・法学部	880,000	200,000	263,350	1,343,350	*一般入試
	商学部	880,000	200,000	269,850	1,349,850	35,000円~60,000円程度
	医学部	3,040,000	200,000	603,350	3,843,350	*共通テスト利用入試
	理工学部	1,280,000	200,000	383,350	1,863,350	15,000円~40,000円程度
	薬学部薬学科	1,700,000	200,000	553,350	2,453,350	

*初年度納付金(数十万円)の支払いは合格と同時に必要となります。

- ・他に必要経費として受験料、受験交通費、書籍やパソコン、その他学用品の購入。入学しなかった大学に納入した入学料は全額返済されないため計画を立て受験や進路を考えることが大切になります。
- ・自宅からの通学が困難な場合は生活費、通学可能であっても通学費がかかります。



◆専門学校進学のための費用

*私立大学と同等の費用が必要です

専門学校の初年度納付金

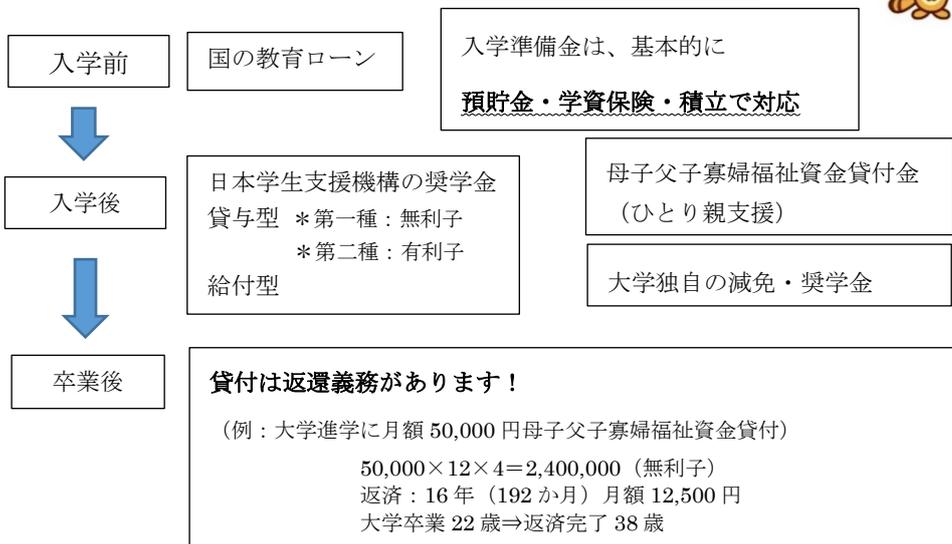
*専門学校の初年度納付金平均額【東京都】(令和元年度 学生・生徒納付金調査)

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ「教育費サポートブック」参照)

	入学金	授業料	実習費	設備費	その他	合計
アニメ・声優・ゲーム	184,000	724,000	78,000	302,000	4,000	1,292,000
製菓	210,000	662,000	561,000	162,000	118,000	1,713,000
臨床検査・診療放射線・臨床工学	228,000	822,000	271,000	92,000	62,000	1,476,000
はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧	406,000	1,088,000	40,000	161,000	21,000	1,716,000
看護	203,000	625,000	44,000	157,000	78,000	1,107,000
理容・美容	119,000	525,000	166,000	168,000	290,000	1,267,000

- ・授業料の他に教材費などかかる費用があります。
- ・芸能系、デザイン、アニメなど就職が困難な場合もあり事前に就職先などの確認、調査が必要です。

教育費の準備 ◆大学・専門学校の費用準備時期



ワンポイント!!

- ★教育費の準備は少しでも早く始め、貯蓄や学資保険等を行っていきましょう。
- ★教育費の準備で貯金ができるのは子供が小さいうち。
- ★学資保険の満期は高校3年生の春が理想
- ★学資保険の加入には子供の年齢制限がある。
- ★世帯主が契約者の場合は離婚時に契約者変更をする。



あきらめないで進学！ 費用が足りないときは・・・

- ・高等学校費用の支援として、一定所得以下の家庭の子どもに奨学金貸与制度、奨学のための給付金制度などもあります。入学後、学校を通じて案内がされますので高校や県教育委員会にご相談ください。
- ・大学や専門学校費用を用意する方法に関して、日本学生支援機構奨学金や母子父子福祉資金貸付は入学後の振込となり注意が必要です。入学準備の費用は貯蓄で用意するか「国の教育ローン」の利用ができます。
- ・大学によっては授業料の減免制度・独自の給付型奨学金制度がある場合もあります。教育費を抑え進学する方法がないか情報収集をしましょう。また、令和2年4月からは、国の高等教育の修学支援新制度がはじまりました。収入基準に該当すると、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校の授業料等の減免制度や日本学生支援機構の奨学金の支援幅拡大となります。高校や進学予定の大学等にご相談ください。



高校・大学・専門学校進学時の支援制度

～家計の状況や成績等により利用できる制度があります～



お子さんと進路について相談しましょう！！

- ・進学にかかる費用は、安いものではありません。何とか学費を工面したのに中退するようなことがないように、しっかりと親子で相談しましょう。
- ・貸与型奨学金や、母子父子福祉資金貸付、教育ローンは「借金です。」返済の義務があります。借金をして進学する価値、必要があるかどうか、卒業後の進路や返済プランはどのように行っていくか等、親子で話し合しましょう。



教育費の相談は お早めに！！

ひとり親の方は母子・父子自立支援員と一緒に考えます。

- ・電話で相談日の確認をお願いします。

電話：0438-23-7249 (子育て支援課こども家庭係)

月曜日～金曜日 8:30～17:15 (祝日を除く)

